



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻  
第5号) 編集後記・編集委員・購読  
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻第5号) 編集後記・編集委員・購読要  
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1980, 26(5): 642-642

ISSUE DATE:

1980-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122634>

RIGHT:

# 泌尿器科紀要

第 26 巻 第 5 号

1980年5月

女子単純性膀胱炎における尿・尿道・腔の細菌学的検討.....中嶋 久雄・ほか	511
泌尿器科領域悪性腫瘍の化学療法中にみられる腎障害の研究— 腎障害の早期発見のための血中ならびに尿中 $\beta_2$ -Microglobulin 測定の有効性.....川村 寿一・ほか	517
腎細胞癌の臨床的研究.....深津 英捷・ほか	527
腎・尿管の Computerized Tomography .....朴 英哲・ほか	535
オリブ油注入法による膀胱 CTscan (英文) .....堀 信一・ほか	545
大阪府下における膀胱腫瘍患者の地域集積性.....原田 卓	551
男子不妊症の治療経験 第1報: HCG/HMG 剤の併用について.....奥山 明彦・水谷修太郎	563
逆行性感染ならびに院内感染防止用に考案した持続導尿装置.....友吉 唯夫・細川 進一	567
H-Y 抗原陽性の46XXmale 2症例.....大野 一典・ほか	571
孤立性睾丸結核と思われる1例.....和田 誠次・ほか	579
精索横紋筋肉腫の1例.....鈴木 安・ほか	585
陰茎癌様に進行した陰茎結核の1例.....伊東三喜雄・ほか	593
女子尿道細網肉腫の1例(英文).....朴 勺・ほか	599
慢性複雑性尿路感染症に対する KW-1062と Gentamicin の 二重盲検法による有効性および安全性の検討.....石神 襄次・ほか	603
膀胱腫瘍に対する Carboquone 膀胱腔内注入療法の基礎的, 臨床的検討.....小野 浩・ほか	619
膀胱癌に対する Pepleomycin (Bleomycin Derivative, NK 631) の効果(英文).....阿曾 佳郎・ほか	629
神経因性膀胱に対するロバベロンの使用経験—脳膀胱症例に おける検討(第1報)—.....宮川 征男・後藤 甫	639

## CONTENTS

Bacteriological Study in Urine, Urethra and Vagina of Female Simple Cystitis.....H. Nakajima et al.	511
Effect of Anti-Cancer Chemotherapy on the Renal Function in the Patients with Urogenital Malignancies. I. Determination of $\beta_2$ -Microglobulin in Blood and Urine for Assessing Renal Impairment .....J. Kawamura et al.	517
A Clinical Study on Renal Cell Carcinoma.....H. Fukatsu et al.	527
Computerized Tomography of the Kidney and the Ureter .....E. Boku et al.	535
Computed Tomography of the Urinary Bladder Using the Olive Oil-Filled Method .....S. Hori et al.	545
Evaluation of Geographic Aggregation of Bladder Tumor Patient in Osaka .....T. Harada	551
Experiences in Therapy for Male Sterility. Report 1: Combined HCG/HMG Therapy .....A. Okuyama and S. Mizutani	563
A Trial of a New Urine-Collecting Device for Prevention of Catheter- Associated Infection and Nosocomial Infection .....T. Tomoyoshi and S. Hosokawa	567
Two Cases of H-Y Antigen Positive 46 XX Male: Case Report .....K. Ohno et al.	571
Isolated Testicular Tuberculosis: Report of a Case.....S. Wada et al.	579
Rhabdomyosarcoma of the Spermatoc Cord: Report of a Case .....Y. Suzuki et al.	585
Tuberculosis of the Penis: Report of a Case and Review of the Literature .....M. Ito et al.	593
Reticulum Cell Sarcoma of the Female Urethra: Report of a Case.....K. Pak et al.	599
Double-Blind Trial of KW-1062 and Gentamicin in Chronic Complicated Urinary Tract Infection .....J. Ishigami et al.	603
Fundamental and Clinical Studies on Intra-Vesical Infusion of Carboquone for Treatment of Bladder Tumor.....H. Ono et al.	619
Effect of Pepleomycin (Bleomycin Derivative, NK 631) on Prostatic Cancer .....Y. Aso et al.	629
Clinical Application of Robaveron to Neurogenic Bladder.....M. Miyagawa and H. Goto	639

Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine

Kyoto University, Kyoto Japan 606.

京都大学医学部泌尿器科学教室

泌尿紀要

Acta Urol. Jap.

禁 帯 出

到着後1ヶ月間

## 編集後記

3月号の編集後記に医療のもつ不確実性について書いた。医療では確実性を前面に出しているが、つねに不確実性も認識しなければならないという文意である。しかし何か書き切れておらず気になっていたが、最近たまたま京都市立芸術大学梅原 猛学長の敬父梅原半二博士（元豊田中央研究所所長）から贈られた著書「純の中の不純」（黎明書房）で、「不確定との戦い」という随筆を読んだ。

——人生も科学も不確実性をもっている。「風とともに去りぬ」のスカールレットは「人間にとって未来はみな不確定だ。絶対確実なことは人間がやがて死ぬことと、容赦なく税金を取られるということだけだ。」といっているし、近代の物理学さえ不確実性の上に築かれている。人生も科学も不確実性をもっているというとは何とときびしいことではないか。しかし、この不確実性から大きな生きがい生まれ、進歩が導き出される。その意味では、人生は不確実性との戦いといえる。——  
筆者が3月号に書き切れなかったのは、まさにこの点である。（O. Y.）

### 購読要項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と5,000円（送料とも）前納していただきます。  
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限り、口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

### 投稿内規（1969年1月改正）

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C,  $\mu$ , %, PH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。  
A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。（論文題名は自由です）  
文献名は正式略称を用いてください。  
例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。  
B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol. 数、p. 数、発行所、出版地、年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

---

泌尿器科紀要 第26巻 第5号	1980年5月25日 印刷	1980年5月31日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500円(送料別)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)		
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入		

---

訂 正

1. 本誌第26巻第4号476頁(友吉論文)左欄下から5行目「組織を判定した」は「組織を逆判定した」の誤りです。
2. 第26巻第3号の表紙で(英文)はそれより3段上の藤田・ほかにつきます。
3. 同上誌255頁のFig. 2-1は天地逆になっています。

パイオニアの責任とたゆまざる研究によって、  
ついに、フトラフルに四つの剤型が完成しました。



フトラフルズボ・ズボS  
3つの吸収経路

抗悪性腫瘍剤(FT-207)

**フトラフル®**

注	薬価	1管 1641円
カプセル	薬価	1カプセル 679 <sup>20</sup> 円
ズボ <sup>○</sup> (新発売)	薬価	1000mg 1個 2901 <sup>50</sup> 円
ズボ <sup>○</sup> (新発売)	薬価	750mg 1個 2461 <sup>50</sup> 円
細粒 (新発売)	50% 1g	1555 <sup>40</sup> 円
	40% 1g	1263 <sup>30</sup> 円
	20% 1g	679 <sup>20</sup> 円

健保適用



大鵬薬品工業株式会社

〒101 東京都千代田区神田司町2-9